

あしは
葦の葉

かしこく やさしく たくましい 吉田っ子の育成
～地域と共に、9か年の学びのなかで～
〇やる気いっぱい 〇笑顔いっぱい 〇元気いっぱい 〇優しいいっぱい



能楽体験 ～本物の芸術を子どもたちに～

1月26日（金）、学校巡回公演事業により、大槻能楽堂（大阪市）の皆様による公演が行われました。4～6年生は、1月10日にワークショップで能の歴史、登場人物の特徴、五人囃子のことを学んだり、紙製の能面作成に挑戦したりしてからの本公演でした。

日頃はあまり親しみのない芸術ではありますが、吉田小学校校歌の能楽バージョンやエア楽器体験など楽しく学びました。小道具や登場人物の紹介のあとは、代表8名の児童が本物の能面をつけ堂々と舞台上に登場しました。最後は、能楽師の皆様による能「小鍛冶」を鑑賞しました。本物の芸術を耳、体、心で体験できる良い機会でした。



SDGs 「ふりかけづくり」～3年生 色おち海苔を救え！～

1月24日（水）、海苔ラボの松本理絵さん（鹿島市七浦）を講師に迎えふりかけづくりを体験しました。

始めに、海苔について話を聞きました。海のない吉田ですが、山に雨が降って、地面に蓄えられた栄養ある水が川から海へ流れ、その栄養分で海苔が育つことを学びました。作業をして困る海に流れてくるペットボトルやビニールのゴミだそうです。海苔作りは、地球温暖化や雨不足など自然の影響を受けていて、一生懸命作った海苔も色落ちすると廃棄処分となるため、松本さんは、色落ちした海苔を「ゴールデン海苔」とよび、ふりかけにして活用しているそうです。ふりかけ作りでは、ベースとなる小さくしたゴールデン海苔の中に、自分で選んだ具材を入れて完成させます。ごま塩やわかめ、鰹節、乾燥エビの他にも、ニンニクや昆布茶、スナック菓子など24種類の中から3つを選び完成させました。楽しく学ぶ事ができました。



地域と共に～6年生家庭科 地域をきれいに～

1月25日（木）、6年生は家庭科「地域と共に」の授業で、地域の一員としてできることを考え、学校の外回りの清掃に取り組みました。道路や側溝の落ち葉を集めきれいにしました。

自分たちの町「吉田」を大好きな子になって欲しいです。



小中連携 乗り入れ授業 ～4年生音楽 琴を体験～

今年度も小中連携を進めています。1月23日(火)は、4年生が音楽の授業を吉田中学校で行いました。日本の音楽の授業で中学校の音楽科、岩永麻也華先生に教えていただきました。日本の音楽の特徴や琴について学んだあと、実際に琴を演奏しました。中学1年生が横について優しく教えてくれて、弾けるようになりました。



学校でグローブ追加購入しました～大谷選手グローブの活用～

先日、大谷翔平選手から野球グローブが3つ(右利き用2・左利き用1)届きました。子どもたちは、「早く使いたい。遊びたい」と思っていました。数が足りません。1月21日のPTA空缶回収時に、保護者さんから「数を補充して遊ばせて欲しい。」と話がありました。そこで、「嬉野市校長先生の知恵袋事業」からグローブを購入し数を揃えました。運動委員会の子どもたちとも相談して、仲良く遊べるようにしたいと思います。

PTA 総務福祉部読み聞かせ ～ありがとうございます！～

PTA 総務福祉部の皆さんが、年3回1～3年生に読み聞かせを行ってくださっています。とても上手な語り子どもたちは引き込まれていました。

吉田小学校では、家読(うちどく)にもご協力いただいています。おかげで、子どもたちは本が大好きです。



2月全校集会 校長の話 ～絵本の読み聞かせとヴィオラのコラボ！～

能登半島地震から1ヶ月。まだ、厳しい状況が続いています。深い悲しみのニュースには、心が痛み胸が苦しくなります。

しかし、そんな中で「自分が出来ること」を考えたり、前を向いて歩みを踏み出そうとしたり、人間の優しさや強さを感じるニュースもあり、多くのことを教えられます。

今月は「1000の風1000のチェロ」の絵本を読みました。阪神淡路大震災から2ヶ月後の震災復興支援のチェロコンサートを爽やかに描いた絵本です。それぞれの物語をもった人たちが、音楽を通して心をかさねあわせていくお話です。

水山先生のヴィオラの演奏とともに絵本の読み聞かせをしました。気持ちを重ねあわせて風にのった音楽が、子どもたちの心に届きますように。

